

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業	
事業名	宮川彬良&大阪市音楽団			
目的・内容	県内では鑑賞する機会が少ないプロの吹奏楽団による演奏会を開催することで、鑑賞者の拡大を図るとともに、青少年の活動者等のスキルアップ・レベルアップに繋げる。			
開催日時	平成24年1月29日(日) 開演15:00			
会場	米子コンベンションセンター 多目的ホール			
入場料 (友の会・団体)	大人 4,500円 (友の会3,500円・団体4,000円)	中・高校生 2,000円 (1,500円)	小学生 1,000円	
集客状況	入場者数 1,051名	設定席数 2,000席	集客率	53%
事業費状況	予算額	収入 5,000,000円	支出 6,472,000円	収支比率 77%
	決算額	収入 3,499,000円	支出 6,539,323円	収支比率 54%
来場者アンケート (主なもの) 回答者数 440名	<ul style="list-style-type: none"> ・小4の娘にせがまれ来ました。20年前、中高6年間吹奏楽部にいましたが、その時の気持ちがよみがえってきたように思います。吹奏楽っていいですね。楽しい時間をありがとうございました。 ・今まで生きてきた中で最高のステージを見れました。 ・音楽を楽しむ事を目一杯教えて貰いました。 ・とても楽しくあつという間に時間が過ぎました。吹奏楽団の良さを十分に満喫しました。 ・未就学児でも聴きにきたい人がいたので残念でした。未就学児もOKにして貰えたら嬉しいです。 ・もっと沢山の学生に聴いて欲しかったです。 			
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内では鑑賞する機会が少ないプロの吹奏楽団による演奏会を提供することができた。また、公演鑑賞とともに、プレ事業として、楽団員によるワークショップを開催し、青少年の活動者のスキルアップ・レベルアップに繋げることができた。 ・これまでの反省を活かし、チケット発売前に関係団体へチケットの取りまとめを依頼した。利用はそう多くなかったが、プレ事業の運営を協働するなど、関係の構築は図れた。 ・今回はプレ事業と本公演の担当者を同一にしたことにより、これまで以上に本公演のコンセプトに沿ったプレ事業が実施できた。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮川彬良の西部地区での知名度を期待しての入場目標でもあったが目標を達成することができなかった。 ・震災被災の方の招待も行ったが、2,000席のホールで入場見込みを1,300名で立てているのであれば、700席を有効に活用してはと思う。 			
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ事業や公演のインパクトのあるポスター・チラシなど、PRのあり方は評価したい。 <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公演内容は素晴らしく質の高い内容であっただけに、集客が伸び悩んだのは残念である。県内における吹奏楽人口は多く、もっとたくさんの人に聴いてほしかった。山陰両県の吹奏楽関係団体との連携をもっと強力なものにできなかったかとの思いが残る。 ・入場者率が65%というのは、吹奏楽の盛んな西部地区においては、低いと思う。更に実質入場者率が53%というのは吹奏楽愛好者を取り込めなかったことになり、大きな反省材料にしなければいけない。 			
今後の対応、 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体とは企画の段階からチケット料金や広報などについて相談をしてより密接な関係構築し、連携を図っていく。 ・入場者を増やすための取り組み(財団事業において少ない観客層である20~30歳代が読む情報誌への広告掲載やソーシャルメディアの活用など)や関係者へのアプローチを積極的に行っていく。 ・24年度はプレ事業と本公演の担当者を同一にして事業を推進していく。 ・空席の有効活用については、招待する関係者への聞き取りや他館の状況なども踏まえ、活用の有無を検討する。 			